

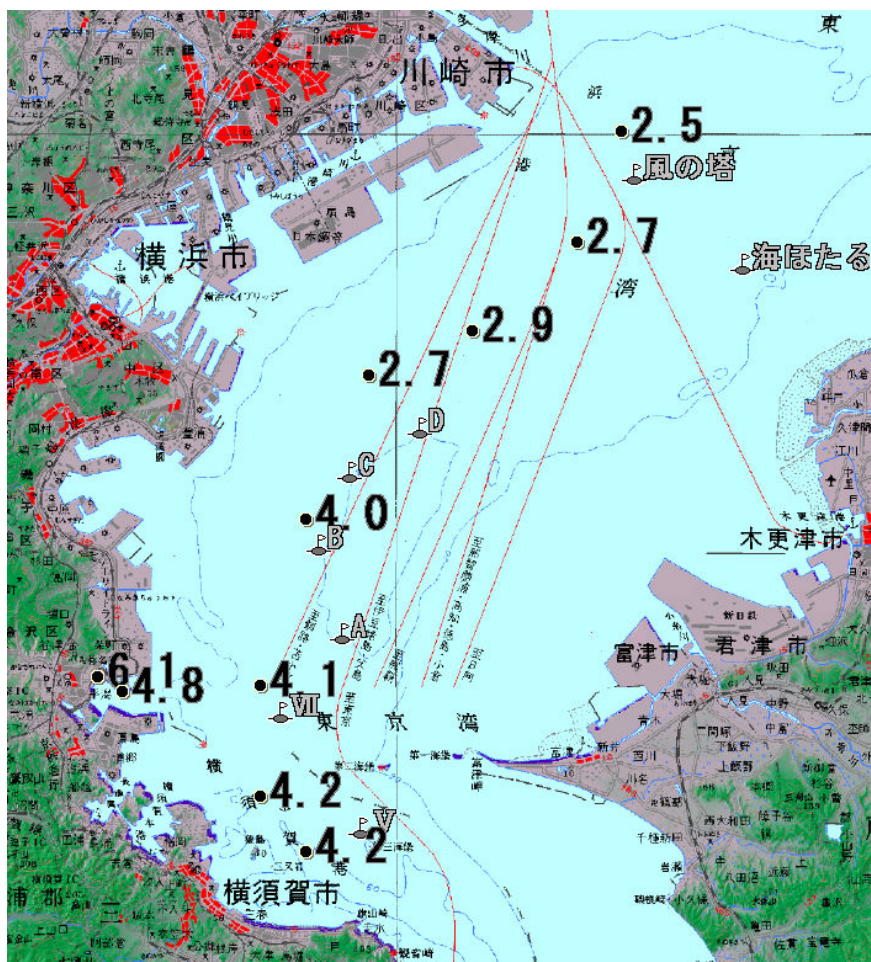
表層では植物プランクトンが増殖し、赤潮状態です。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2010/06/30

神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協柴支所の
柴義丸により東京湾調査を実施しました。

- 水温は、表層で23～25℃台、底層では15～16℃台です。
- 塩分は22～27台とかなり低いですが、底層では34以上と高めになっています。
- 貧酸素水塊 ($\leq 2.5\text{ml/l}$) は風の塔の北でのみ見られました。Cブイ以南では酸素量が高めです。
- 八景島脇のあなご活け場でも酸素量は十分にありましたが、水深10m付近までは、水温は高く塩分は低く、また赤潮状態です。現時点では、深めに活けたほうがよいかもしれません。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部
電話 046(882)2313

上下の水温・塩分差があります。
漁獲物の取り扱いにご注意ください。